

# 「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」運営体制

## 高知県懇談会設置の目的

- ◆ 鉄道利用者の増加による新たな収益を上げるための方策を確立（公共交通全般から鉄道利用増にアプローチ）
- ◆ その方策を確立するため、民間事業者同士が鉄道利用の活性化策を協議して早期に実行（県がコーディネート）

## 親会のメンバー等

4/25に立ち上げ

- JR四国、とさでん交通、土佐くろしお鉄道
- 高知県、高知県観光コンベンション協会
- 高知市、安芸市、南国市、四万十市、大豊町、四万十町（各地域公共交通会議等のメンバー）
- 四国運輸局（オブザーバー）

※第1回会議（4/25）：JR四国の現状、各交通事業者の利用促進策、今後の会議の進め方を確認  
 ※第2回会議（10/9）：ワーキンググループの意見を取りまとめ⇒10月に四国懇談会に概要報告  
 ※第3回会議（1月）：具体の活性化策の進捗状況を取りまとめ⇒2月に四国懇談会に概要報告  
 ※メンバーは適宜追加し、必要に応じて有識者や関係団体から意見を聴取

親会のとりまとめ  
状況を報告

10月と2月に報告

四国における鉄道  
ネットワークのあり方  
懇談会Ⅱ  
（10/18予定）

各グループの意見・  
進捗状況を取りまとめ

## 路線別ワーキンググループ

JR予土線  
（6/10、8/27）

JR土讃線  
（7/31）

※メンバーは適宜追加し、必要に応じて有識者や関係団体から意見を聴取

連携

- 高知県東部広域地域公共交通協議会
- ごめん・なはり線活性化協議会
- 高知県嶺北地域公共交通協議会
- 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会
- 高知県予土線利用促進対策協議会

## スケジュール案

2019年度	4月	5月～8月	9月	10月	11月～12月	1月	2月
親会	立ち上げ			WG意見とりまとめ 四国懇談会に報告		WGの進捗状況 とりまとめ	四国懇談会 に報告
ワーキンググループ (WG)		活性化策の協議			活性化策の進捗確認		

2020年度も同様の  
スケジュールでPDCAサイクル  
による活性化策の  
進捗管理を実施

## 「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」路線別WGの検討状況

- ◆交通事業者等の民間事業者同士が、鉄道利用の活性化策を連携して実行に移せるよう、下記のとおり路線別WGで協議を行い、取り組みを進めている

## 予土線

## 【構成メンバー】

- ・ J R 四国、土佐くろしお鉄道、高知西南交通、四万十交通
- ・ 県観光コンベンション協会、四万十町観光協会、奇想天外、沿線宿泊施設等の関係者
- ・ 県立四万十高等学校
- ・ 四万十市、四万十町
- ・ 県（中山間振興・交通部、産業振興部、観光振興部）
- ・ 四国運輸局（オブザーバー）

## 【検討状況】

## 第1回WG

R1.6.10 四万十町役場（参加者36名）

〈内容〉

- 1 これまでの利用促進策の共有
  - ・ J R 四国、高知県予土線利用促進対策協議会の取組内容を確認
- 2 グループワーク（4チームに分かれてディスカッション）
  - ・ これまでの利用促進策の検証
  - ・ 事業者が連携して取り組む予土線の活性化策の検討

## 第2回WG

R1.8.27 四万十町役場（参加者30名）

〈内容〉

- グループワーク（3チームに分かれてディスカッション）
  - ・ 第1回予土線WGで出されたアイデアを踏まえた活性化策の検討
  - ・ 地域資源を活用した観光利用促進策
  - ・ 日常利用促進策

## 土讃線

## 【構成メンバー】

- ・ J R 四国、土佐くろしお鉄道、とさでん交通
- ・ 県観光コンベンション協会、高知市観光協会
- ・ NPO交通まちづくり高知、高知の電車とまちを愛する会
- ・ 高知市、南国市、安芸市、いの町、大豊町
- ・ 県（中山間振興・交通部）
- ・ 四国運輸局（オブザーバー）

## 【検討状況】

## 第1回WG

R1.7.31 高知共済会館（参加者28名）

〈内容〉

- 1 これまでの利用促進策の共有
  - ・ J R 四国の取組内容を確認
- 2 グループワーク（3チームに分かれてディスカッション）
  - ・ これまでの利用促進策の検証
  - ・ 事業者が連携して取り組む土讃線の活性化策の検討

## 【今後の進め方】

交通事業者等が個別協議を行って、  
実行に移せるものを絞り込み



第3回親会（R2年1月開催予定）に  
検討状況を報告



WG状況写真